

公益社団法人鳥取県医師会長
一般社団法人鳥取県東部医師会長
公益社団法人鳥取県中部医師会長
公益社団法人鳥取県西部医師会長
一般社団法人鳥取大学医学部医師会長
一般社団法人鳥取県薬剤師会長
公益社団法人鳥取県看護協会会長
各 病 院 長

} 様

鳥取県福祉保健部健康医療局健康政策課長
(公 印 省 略)

県内におけるインフルエンザ脳症の死亡例に伴う注意喚起について(通知)

日ごろ、本県の感染症対策について、格別の御協力をいただきお礼申し上げます。
今般、県内においてインフルエンザ脳症による死亡例が発生し、別添のとおり報道発表を行いました。
県内でのインフルエンザ脳症による死亡例は、2004年の届出開始以降、はじめてとなります。
現在、県内全域にインフルエンザ注意報を発令中ですが、今後、さらなる流行が予想されます。

インフルエンザ脳症については、毎年、全国で約100人から300人が発症しており、2007年から2018年の12年間で累計1,450人が確認され、このうち届出時点の死亡例は106人(7.3%)報告されています。
また、インフルエンザ脳症の発症例は20歳未満で多い一方、死亡例は20歳以上、特に高齢者で多い傾向にあります。

については、インフルエンザ患者を診察する際には、インフルエンザ脳症に対する注意喚起にも御協力くださるようお願いいたします。

【参考ホームページ】

国立感染症研究所感染症疫学センターホームページ

○急性脳炎(脳症を含む)サーベイランスにおけるインフルエンザ脳症報告例のまとめ

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/typhi-m/iasr-reference/2466-related-articles/related-articles-472/8948-472r07.html>

○インフルエンザ脳症の新しい治療法について

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/typhi-m/iasr-reference/2466-related-articles/related-articles-472/8947-472r06.html>

<担 当>

感染症・新型インフルエンザ対策室 さいしゅ 最首

電話:0857-26-7153

ファクシミリ:0857-26-8143

電子メール:saisyu-n@pref.tottori.lg.jp

資 料 提 供	
令和元年12月26日	
担 当 課 (担当者)	西部総合事務所福祉保健局(米子保健所) 健康支援課 (中瀬、高橋)
電 話	0859-31-9317

西部総合事務所管内におけるインフルエンザ脳症の死亡事例について

12月24日、米子市内の医療機関からインフルエンザA型による急性脳炎（インフルエンザ脳症）の死亡事例について届出がありました。

記

1 状況

項 目	内 容	
患 者	30歳代（女性）	
	住 所 地	米子市内
症 状	発熱、痙攣、意識障害	
経 過	12月19日（木） 体調不良を訴え、米子市内の医療機関を受診 ※同日インフルエンザを発症 12月20日（金） 自宅療養（インフルエンザ脳症発症） 12月23日（月） 自宅で倒れているところを発見され、死亡を確認 12月24日（火） 死因はインフルエンザA型による急性脳炎（インフルエンザ脳症）であるとして、医師より保健所に届出あり	

※ 報道機関各位におかれましては、患者家族のプライバシーの確保に十分な配慮をお願いするとともに、取材にも御配慮をお願いします。
また、以下の啓発についてよろしくお願いします。

《県民の皆様へ》

○インフルエンザの症状

発熱（通常 38℃以上の高熱）、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛などが突然現われ、咳、鼻汁などの上気道炎症状がこれに続くのが、典型的な症状になります。また、疫学的には小児に多いとされている、インフルエンザ脳症と呼ばれる重度の中枢神経症状を呈する急性脳症を発症することもあります。

○感染予防についてのお願い

- ・咳やくしゃみなどの症状がある場合は、ハンカチやティッシュなどで鼻や口を押さえるなど、咳エチケットを心がけましょう。
- ・こまめな手洗いを心がけましょう。
- ・睡眠を十分に取り、栄養に気を配りましょう。
- ・室内を適切な湿度に保ちましょう。
- ・インフルエンザにかかったと感じる時は「かぜ」と軽視することなく、速やかに医療機関で診察を受けましょう。

○インフルエンザワクチンの予防接種

発症をある程度抑える効果や、重症化を予防する効果があります。特に、高齢者や基礎疾患のある方などは、罹患すると重症化する可能性がありますので、予防接種についても御検討ください。

○県内の流行状況（鳥取県感染症流行情報第 51 週：12 月 16～12 月 22 日）

インフルエンザは、全域で患者報告数が増加し注意報レベルを超えたため、インフルエンザ注意報が発令されました。今後、さらに流行が拡大するおそれがあるので、注意が必要です。